

東北大学は2007年6月の創立100周年にあたり、2004年より「TOHOKU UNIVERSITY、CREATING GLOBAL EXCELLENCE」(東北大学は世界最高水準の研究・教育を創造します)をキャンペーンスローガンとして、「東北大学100周年キャンペーン」を開始し、様々な事業を開催しています。

東北大学pre-Centenaryイベント～100周年を1年後に控えて～

2006年6月22日(木) 東北大学片平キャンパス等

- 広告バス出発式
- 東北大学ロゴタピストリー除幕式
- 東北大学pre-Centenary祝賀会



東北大学100周年記念セミナー「科学が次の100年で創り出せること」

主催：東北大学、日本経済新聞社

第6回

文明の危機とグローバルコミュニティの再生 2006年8月2日(水) 日経ホール

「地球規模大災害と国際協力～インド洋津波から見えるもの～」	工学研究科附属災害制御研究センター教授	今村 文彦
「グローバル化とヒトBSEの脅威」	医学系研究科教授	北本 哲之
「国境を越えるウィルス感染症～鳥インフルエンザと地球規模大感染の危険性～」	医学系研究科教授	押谷 仁
「プラスチック地雷を見つける電波技術～先端テクノロジーによる地雷除去～」	東北アジア研究センター教授	佐藤 源之
「グローバルネットワークの光と影～ハッカーとの飽くなき闘い～」	情報科学研究科教授	根元 義章
「オーロラから見る地球の未来～進展する国際宇宙共同観測～」	理学研究科教授	福西 浩

第7回

きれる子、無気力な子、挫折する子—親の力、教師の力、社会の力を考える— 2007年1月13日(土) 日経ホール

「ほどほどの子育ては、愛とスキルから!?—児童精神科医療の現場で見えること—」	前宮城県立こども病院児童精神科科長	本多 奈美
「友愛と信頼、親子の絆を育む遺伝子—オキシトシンの謎—」	農学研究科教授	西森 克彦
「学生の自殺をどう防止してきたのか—大学の模索—」	高等教育開発推進センター教授 (学生相談所カウンセラー)	吉武 清貴
「将来が見えない若者たち—家庭・教育・労働市場の再構築—」	文学研究科教授	佐藤 嘉倫
「自分づくりを支援する教育はできているのか—幼稚園から大学までのカリキュラムの点検—」	教育学研究科教授	水原 克敏
特別講演 『家族で食事』がすべての基本—テレビドラマの取材から—	脚本家・東北大学相撲部監督	内館 牧子

東北大学100周年記念仙台セミナー

主催：東北大学、河北新報社

第1回

先端科学の挑戦—『健康で長生き』を目指して 2006年12月3日(日) 仙台国際センター

「岩手・大迫の研究が世界標準に～血圧測定を科学する～」	薬学研究科教授	今井 潤
「食べ物とがん予防～健康食品はほんとうに効くか～」	法学研究科教授	坪野 吉孝
「マイクロ技術で病気をなおす」	工学研究科教授	江刺 正喜
「サイボーグへのみち～人間は機械である?～」	加齢医学研究所教授	山家 智之

パネル討論

〈コーディネーター〉	副学長	大西 仁
〈パネリスト〉	薬学研究科教授	今井 潤
	法学研究科教授	坪野 吉孝
	工学研究科教授	江刺 正喜
	加齢医学研究所教授	山家 智之
〈進行〉	東北放送アナウンサー	藤沢 智子



東北大学100周年記念仙台セミナー



東北大学pre-Centenary祝賀会

東北大学100周年記念サテライトセミナー

回	開催日	開催地	内 容	
第6回	2006年11月25日	福 岡	「人工生殖を考える～生まれてくる小さな生命の視点から～」 「オーロラから見る地球の未来～進展する国際宇宙共同観測～」	法学研究科教授 水野 紀子 理学研究科教授 福西 浩
第7回	2006年11月29日	名 古 屋	「脳科学から新産業を創生する」 「血液脳関門の働きと脳へのドラッグデリバリー」 「MEMS(微小電気機械システム) ーシステムの重要な部品は半導体技術を中心に作られるー」 「ニュートリノで宇宙を見透す巨大な地下の目」	加齢医学研究所教授 川島 隆太 薬学研究科教授 寺崎 哲也 工学研究科教授 江刺 正喜 理学研究科教授 井上 邦雄

その他の100周年各種事業

開催日(2006年度)	事業名	部局等名
5月18日	講演会「量子化学国際会議」	理学研究科
6月12日	公開国際交流プログラム「仙台-レンヌ交流40周年記念フランス文化講演会」	国際文化研究科
9月29日	公開シンポジウム「代謝・栄養・生理科学の最前線-家禽産業との融合を目指して-」	農学研究科
10月18日	公開国際交流プログラム「ヨーロッパ文化講演会」	国際文化研究科
10月20日～12月27日	「学都仙台・明治の学生群像-東北大学がなかった頃-」展	史料館・第二高等学校尚志同窓会
11月 3日～14日	企画展「江戸の遊び-けっこう楽しいエコレジャー-」	附属図書館
11月 6日～ 8日	農学国際シンポジウム「イネ科学の最前線-遺伝子からフィールドまで-」	農学研究科
11月 8日～12月15日	青葉工業会創立50周年・東北大学創立100周年記念第25回写真コンテスト	青葉工業会・工明会
11月16日～17日	国際シンポジウム「生物産業創成科学研究の新展開」	農学研究科
12月17日	第50回東北大学歯学会	東北大学歯学会
12月23日	理系白書シンポジウムin仙台「夢を形にするチカラ-女性科学者ってかっこよくない？」	
2月 3日	公開国際交流プログラム 日中韓学術交流フォーラム「東アジアにおける日本研究-言語・文学・思想-」	国際文化研究科
2月 6日～ 3月 4日	総合学術博物館のすべてVI「脳のかたち、心のちず-東北大学・脳の研究・心の研究」	総合学術博物館
2月 8日～ 9日	日仏ジョイントフォーラム「Lyon・Tohoku, Teaming for the Future」2020年の科学・技術の姿	
2月12日	第19回東北大学柔道部青葉杯優勝大会	学友会体育部・学友会柔道部
2月14日	第5回情報シナジー研究会	情報シナジー機構・情報シナジーセンター
2月18日～19日	第2回インターフェイス口腔健康科学国際シンポジウム	歯学研究科
2月26日～28日	ACCMS-VO創立国際会議	ACCMS-VO創立国際会議実行委員会
3月 3日	「知の世紀」グローバル・サミット ～Challenge(挑戦)、Creation(創造)& Innovation(革新)が次代を切り拓く～	
3月 8日～11日	「上野の山発 旬の情報発信シリーズ第13回」ユビキタスネットワーク情報化社会の実現へ	未来科学技術共同研究センター
3月15日	国際シンポジウム High School Educators in Comparative Perspective	教育学研究科

■ 東北大学学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク

東北大学は長年にわたり正規の学章、スクールカラー、学生歌を持っていませんでしたが、2007年6月にこれを制定しました。学章は東北大学ロゴマークとし、スクールカラーは東北大学ロゴマークの公式カラーの「紫」としました。学生歌は、昭和28年度に学友会で学生歌として選定され、歌い継がれてきた「青葉もゆるこのみちのく」としました。

ロゴマークは、2007年6月に東北大学創立100周年を迎えることを機に、ユニバーシティ・アイデンティティを明確にし、国内外の知名度や信頼性を向上させるため、2005年4月に制定されました。「creativity」「global」「tradition」をキーコンセプトに、昔から宮城野や仙台を象徴する植物とされている「萩」をモチーフとして、品格を持って、世界に大きく広がっていく動きを表現しています。公式カラーは「紫」と「黒」で、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表しています。

